

伸びよう 伸ばそう 青少年



青少年育成稲敷市民会議の主な事業

三つの基本姿勢

- (1) 子どもや青少年をしっかりと見つめる
- (2) 大人が変われば子どもも変わる
- (3) さんかけ運動を推進する

(1) 子どもや青少年をしっかりと見つめる

市内の子どもや青少年の実態を把握して、私たち大人がやるべきことを見極め活動することが大切です。

(2) 大人が変われば子どもも変わる

「子どもは、社会を映す鏡」。そんな考えに立ってみると、私たち大人が、まず、しなければならないことがあります。それは、親や大人が自らの姿勢を正し、子どもの手本になるとともに、社会全体のモラルや地域の教育力を高めていくことではないでしょうか。身近なところから、できることから始めましょう。

(3) さんかけ運動を推進する

「さんかけ運動」は『青少年 気かけ 目をかけ 声かけよう』のキャッチフレーズで、子どもや青少年をいつも多くの大人が気にかけていて、また、みんなが目を向けていて、必要なら一声かけようという運動です。

いつも気にかかけたり、目をかけることによって子どもや青少年の実態を知るだけでなく、大人との絆づくりを期待しようというものです。



入学期・11月の教育月間に合わせて、学校と合同であいさつ運動を実施



『のぼり旗』の作成
推進のぼり旗を作成し、市内のこども園幼稚園・小中学校・公民館などへ掲げ、運動を展開

活動内容

青少年育成稲敷市民会議ではこのような活動をしてきました。

『映画会』の開催

子ども達の夏休み期間に合わせて、青少年向けの映画を上映しています。幼児から小学校高学年の児童に多く来場していただいております。

『ボランティア清掃活動』

子ども会育成連合会と合同で清掃活動を行っています。毎年、100名を超える市民の方々に参加いただいております。



『講演会』の開催

「青少年健全育成講演会」を稲敷PTA連絡協議会と合同で開催しています。毎回著名人を講師に招き、さまざまなテーマで講演いただきます。

『啓発品』の配布

令和2年度は市内の園児・児童・生徒へ啓発品を作成し、配布しました。明るく健全な社会環境づくりの基本となる「あいさつ運動」をテーマとして作成しました。



『広報紙』の発行

広報部を中心に市民会議の活動内容を広く市民の方にお知らせするため、広報紙「わかくさ」を発行し、市内全戸へ配布しています。



『あいさつ運動』の実施

入学期・11月の教育月間に合わせて、学校と合同で「あいさつ運動」を実施。子ども達は元気な声であいさつをしてくれて、私たちも元気をもらっています。

『主張大会』の開催

大会部を中心に「稲敷市青少年の主張大会」を開催しています。青少年が考えていることを社会に主張することで、社会の一員としての役割を自覚すること、また、大人が青少年の理解と認識を深めることが目的です。



会場：江戸崎中央公民館
*市内 4 小学校と 4 中学校、
1 高等学校の代表が主張発表

『主張大会作文集』の発行

「稲敷市青少年の主張大会」の作文集を作成し、配布しています。（図書館、公民館でご覧いただけます。また、回覧を予定しています。）



青少年育成稲敷市民会議
事務局：稲敷市教育委員会 生涯学習課
(江戸崎中央公民館内)

稲敷市江戸崎甲2148-2
TEL 029(892)2000(代表)
FAX 029(892)3664